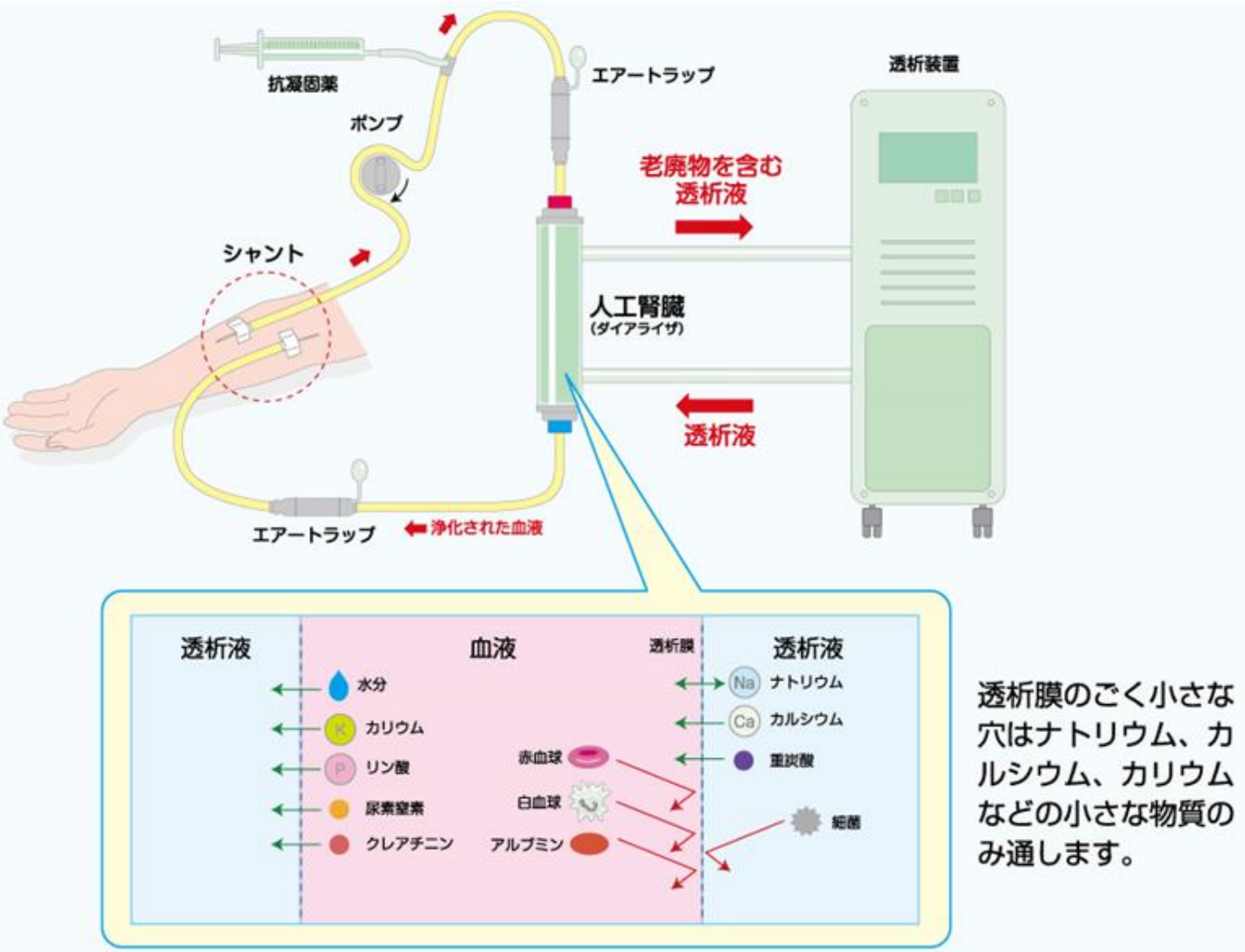
血液透析

内シャントと言われる血流の良い血管を作成するために末梢動静脈を吻合します。血液透析は週3回1回約4時間以上行います。
内シャントに抜血用と返血用の針を1本ずつ刺し、血液を体外に導き出し、人工腎臓で浄化した後、体内に返します。



(毎日いきいき透析楽習帖③「血液透析に備えましょう」2010 より改変)

利点としては安定して十分な透析が受けられるうえ、医療機関に頻回に受診するため安心感が得られる点です。
欠点としては遠方であったとしても血液透析施設への通院が必要であることなどがあります。